

ツブキ先生の 虫のつぶやき

植物編

スミレを取り巻く虫たち

津吹卓



▲写真1:スミレ
(園芸種のアメリカスミレサイシン)

このシリーズでは、植物と虫の関係を基にして、植物や虫がお互いどのような生活しているのかについてお話しします。

スミレ(写真1)はご

存じですね。一口にスミ

レと言っても、自然のものにも園芸品種にも、たく

さんの種類があります。身近なパンジーもスミレの

仲間です。花を咲かせ、実ができ、種で増えるので

すが、その過程に特徴があるのです。

第1問 おしべの先端に花粉が

付く必要がありますが、誰が付

けてくれるのでしょうか。

答え それはハチなどの虫で

す。

第2問 では種のまき方は？

(スミレの株を見つけると、そ

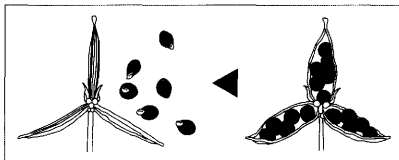
の付近にも幾つか株があること

が多いのです。)

答え スミレは図1のように実の中に種を付けま

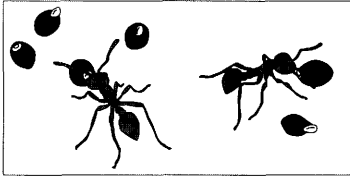
す。そして自分で種をはじき飛ばすのです。僕は熟

した実をプラスチックシャーレに入れておきまし



▲図1 実の中の種





▲図2 種を運ぶアリ

た。するとある時、カチツカチツと音がし、見ると種ははじけてバラバラになっていました。種が飛び散ってふたに当たった音が聞こえたのでした。種まきにはまだ続きがあります。飛び散った種はアリに運ばれて(図2)さらに遠くへ運ばれるのです。

第3問 アリはなぜそんなことをするのでしょうか。(ここにスマイレの工夫があるのです。)

答え 種にはアリのごちそうが付いているのです。種を見ると白いものが付いているのがわかります。図鑑には、「アリの大好きな甘い脂肪のかたまり」とありました(僕はなめてみましたが甘くはなく、

まだ、未完成だったのかもしれない)。でも、これでは種はアリの巣の中へ運ばれてしまいまずね。ご心配なく。アリが運ぶ途中で、この脂肪ははずれるよううで、その後、アリは脂肪だけを運び、種は置いていくのです。

あるチョウの仲間(ヒヨウモ



▲写真2: ツマグロヒョウモンの雌



▲写真3: スマイレの葉を食べるツマグロヒョウモンの幼虫

ンチョウ類 写真2)の幼虫は、スマイレ類だけの葉を好み、たくさん食べます(写真3)。幼虫がある株の葉を食べ尽くしても、その近くにはまた別の株があることが多いので、幼虫は歩いて探せばいいわけです。まるでレストラン街のようですね。

このように、いろいろな虫と関係しながら、スマイレは生きているのです。

(十文字中学・高等学校(理科/生物)
十文字学園女子大学児童教育学科非常勤講師)